

2022.3.24 (木)
第31回例会
(通算3658回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	嵯峨記念育英会奨学生卒業報告 (担当：嵯峨記念育英会委員会)
次週例会	転勤族フォーラム「桐島支店長、釧路に転勤だってよ (担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：それでこそロータリー
- ソングリーダー：杉浦 裕之君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト 嵯峨記念育英会奨学生 釧路北陽高等学校 3年 森山摩乙さん、保護者 森山 由紀様
// // 桜井野々花さん、保護者 桜井なお様

会長の時間 杉村 莊平会長

皆さん、こんにちは。本日も多数のご出席いただきましてありがとうございます。

先週は所用でお休みをいただきまして、大変申し訳ございませんでした。その分、浅川副会長が素晴らしいご挨拶をさせていただいて、お務めをしっかりと果たしたと聞いております。ありがとうございます。引き続きしっかり会長職を全うしていきたいと思っております。

さて、まん延防止期間が終わりましたので、本日から少し卓数を増やして例会对応させていただいております。これでコロナが落ち着いてもらえればと思っておりますが、これから6月末までの間、コロナに気を付けながらも通常に近い運営に戻して、次年度に引継ぎしていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

これから通常に戻したいという気持ちの中で、これまで少し延期になってきた例会、事業の紹介を今日はしてみたいと思います。

まずは来週の3月31日、夜例会を再開させていただきます。これも振り返れば、1月6日の新年交礼会以来となります。久しぶりの夜例会で、親睦委員会も満を持しての登場となりますので、皆さん、ご期待していただければと思います。

続きまして4月7日には、山田支社長の絶大なるご支援の下、J R北海道さんの操車場などを見学させてい

ただけることになっています。その中に「SL冬の湿原号」「ノロッコ号」「新型の特急列車」など、全部見られると聞いております。小野寺君あたりは説明しなくても全部わかっていると思いますが、鉄道オタである方も、そうでない方もぜひ楽しみにして参加していただければと思います。これもよろしく願いいたします。

続きまして、4月9日から旭川で「地区研修協議会」がリアルで開催されます。これも振り返ってみると2019年の脇年度で、当時は吉田ガバナーエレクト向けの地区研修協議会を開催して以来、もっと言うと出物でいうと、その前の2018年、帯広での地区大会以来の出物となります。これまで過去4年間に入会してもらった方にはたぶん出物の経験がないと思います。締め切ったかもしれませんが、ふるってご参加いただいで、行き帰りの車両も大変楽しいですし、大変楽しい1泊2日になると思っておりますので振るってぜひご参加いただければと思います。

4月中旬からは、これも久しぶりの「メイクアップ体験会」を市内5クラブの例会に参加することをやらせていただきたいと思います。これもまた、2014年の吉田秀俊年度にメイクアップ体験会を開催して以来の久しぶりの事業ですので、これも班分けをしながらご希望を聞きながら各クラブに出席することになります。各クラブの例会を見られる機会はなかなかありませんので、これもぜひ楽しみに参加いただければ思

います。

続きまして5月に、協研修委員長にお願いをして、皆さんが楽しみにしている、僕の年度では2回目になります「炉辺会合とRLIを活用した研修事業」をやりたいと思っております。しっかり、がっちりロータリーについて語っていただいて、有意義な時間を過ごしていただきたいと思います。

最後、6月までたどり着いたとしたら、これもしばらく開催できていない「野遊会」を開催したいと思っております。今のイメージとしては、阿寒町辺りに皆さんでバスに乗りながら野遊会に行きたいと思っております。これもぜひご準備していただければと思います。順調に進めば、この春にかけてかなりお酒を飲む機会が増えてくると思います。今から体調管理をしっかりしていただいて、いい5月・6月を過ごしていただければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

ということで本日は、嵯峨記念奨学会の卒業生の皆さんの卒業例会となります。ここは毎年、良いお話が聞けて楽しみにしている例会です。先ほど、お話も聞いておりましたが3年間の間に多少コロナの影響を受けたかと思いますが、それぞれ素晴らしい高校生活だったのだらうと思います。それぞれ、釧路から出る方、残る方、いろいろ進路はさまざまだと思いますけど、お世話になったご両親、お世話になった方々、そしてこの故郷・釧路への感謝を忘れずに大いに羽ばたいていただければと思います。釧路ロータリークラブにもちょっとだけお世話になったかなと思い出していただければと思います。

本日はお話を楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

では、本日の例会よろしくお願ひいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告させていただきます。他クラブの今週の例会につきましてはお配りした例会案内のご一読をお願い申し上げます。

先ほど杉村会長からご案内がありました。4月第一例会を「職場訪問例会」としてJR北海道様にて執り行う予定となっております。また、会場の都合等々、お弁当の手配の関係もありまして、本日、皆さま方にご案内させていただき予定となっております。取りまとめの期間が短くなってきておりますが、皆さま方、ご出席をお願いできればと思っております。以上でございます。よろしくお願ひいたします。

転職のご挨拶

東京海上日動火災保険株式会社 釧路支社

杉浦 裕之君

東京海上日動の杉浦です。このような貴重なお時間

を頂戴しまして、誠にありがとうございます。

とうとう、ここでご挨拶をする時が来てしまいました。私は2018年4月に釧路に着任しまして、5月10日にこの歴史と伝統ある釧路ロータリークラブに入会させていただきました。以来、約4年間に亘りましてお世話になりました。

釧路を支えていらっしゃる経営者の皆さま、あるいは拠点長の皆さま、そういったロータリー会員の皆さまにあらゆる場面で可愛がっていただき、さまざまなことを学ばせていただき、この4年間の釧路生活が大変充実したものになりました。これも釧路ロータリークラブのおかげだと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

4月からは京都に本社がある宝ホールディングスという、宝酒造やタカラバイオをグループ会社に持つカンパニーなのですが、ここが、たまたま私どもが大株主になっていまして、重要取引先ということもあり、そこに出向させていただくことになりました。幸か不幸か単身赴任も解消し、奈良の自宅から30～40分かけて通勤させていただくことになりました。そこでも自分らしく、また頑張っていきたいと思っております。後任は、山口の徳山支社長をやっております小林が着任することになっています。おそらくお世話になることあるかと思いますが、ぜひ、私同様に可愛がっていただければ幸いです。

本当に4年間お世話になりしてありがとうございました。

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長

皆さん、こんにちは。ただいま、ご紹介ありました嵯峨記念育英会委員会委員長の清水です。

今日、これから卒業報告会ということで会を進めてまいります。私は進行の方なのでご挨拶を長々する気はないのですが、卒業生の皆さま、ご家族の皆さま、おめでとうでございます。特にこのコロナ禍、いろんな事ができなかつたり、悔しい思いをしたりがいっぱいあると思うし、もしかするとこの先ももう少し続くかもしれませんが、決して夢と希望を捨てずに元気で活躍していただければと思います。

それでは、この後の進行を西村智久さん、嵯峨記念育英会の業務執行理事をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

嵯峨記念育英会業務執行理事 西村 智久君

嵯峨記念育英会の業務を担当しております西村です。本日は奨学生の卒業例会ということですが、昨年も出席者がいなくて3年振りの卒業例会ということで

大変嬉しく思っております。転勤族やベテランの方で「大好きな例会のひとつ」と言われるものに、嵯峨奨学生の入会と卒業生の例会があります。先日も皆さんに嵯峨記念育英会の議論していただいたところ大変盛り上がり、情報集会がとん挫もせず、1時間半も話をしていただいたということで、社会性がある青少年のために良いことややっている実感のある委員会です。今後ともよろしく願いいたします。

この度、卒業生の森山さんと桜井さんの願書を見ますと、二人とも入学した時には丸い眼鏡をしていたのですね。今はすっかりレディになっていますが、この成長を大変嬉しく思います。

進学の方と就職の方ということでございます。それぞれの抱負を、また未来に対しての夢を語っていただければと思います。二人とも元放送部らしいですから多分ペラペラと上手なスピーチが聞けると思います。皆さん、ご期待いただきたいと思います。

森山摩乙さんからよろしく願いいたします。

釧路北陽高等学校 3年生 森山 摩乙さん

こんにちは。眼鏡の話は恥ずかしいので忘れていただければと思います。

まずは皆さま、奨学金という形で私たちのご支援をしてくださりありがとうございました。私は中学生の時から教員になりたいと考えており、教育大学釧路校に進学したいと考えていたのですが、金銭面で進学を迷ってました。そこで、このような形で支援をしてくださったことで進学に乗り切ることができ、受験し無事合格し、4月から通わせていただくことになりました。

高校での3年間は1～2年生のときは生徒会や部活動などでたくさんいろいろな経験をさせていただき、3年生では進路活動に励みました。

4月からの大学生活では勉学に励むとともに、サークル活動などで充実した日々を送り、教員としてこの道東地域に貢献できるような行動をしていきたいと思えます。

よろしく願いします。

釧路北陽高等学校 3年生 桜井 野々花さん

3年間、奨学金を支給していただきありがとうございました。

私が高校3年間で有意義に過ごし、進路を実現できたのもロータリークラブの皆さまのおかげだと思っております。

高校生活ではコロナウイルスにより学校行事が中止になって、部活動の大会がなくなってしまうなど、うまくいかないこともたくさんあったのですが、高校3年間をとおしてたくさん学ぶことができました。

私は先ほど紹介していただいたとおり、放送局に入部し2年生の時に局長を務め、初めて人をまとめるという立場に付きました。後輩をまとめたり、大会の計画を立てたりするなど、慣れないことがたくさんで、大変なこともあったのですが、改めて責任感の大切さなどたくさん学ぶことができました。私は4月から札幌市役所で働くこととなり、また新たな地でも頑張っていこうと思います。3年間、ありがとうございました。

嵯峨記念育英会業務執行理事 西村 智久君

ありがとうございます。ご希望があれば今の写真お送りしますがいかがですか。お二人が教育大学、札幌市役所、と大変優秀な卒業生に成長したことで、久々のヒットだと考えております。

私の紹介はこれで終了いたしまして、清水委員長にマイクをお渡しいたします。どうもありがとうございました。

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長

ありがとうございました。和気あいあいと楽しい雰囲気、お二方もちゃんと笑顔がこぼれて、とてもいい会だったなと思います。

あ、すみません、石田理事長からご挨拶いただく肝心なのを忘れていました。申し訳ありません。どうぞよろしく願いいたします。

ご挨拶 石田 博司理事長

まずはお二方、卒業おめでとうございます。私は20年ほど前に、こんな言葉に出会いました。それは、『幸せに生きるとは、苦勞の少ない人生を行くことではない。不幸があっても苦勞があっても平気で生きること』という言葉でした。「苦勞があっても平気で生きることが幸せ」という言葉にグッと心をつかまれた気がしました。

振り返ってみると不幸や苦勞があった時、やっぱり「ついでにない」とか「嫌だな」という気持ちで生きてきたのだと、自分でその生き方を反省しました。それまでの間には「艱難汝（かんなんなんじ）を玉にす」とか「若い時の苦勞は買ってでもせよ」という言葉は知ってはいましたが、どうも嬉しい言葉ではない、そんな嫌だなという本音だったのです。

例えていうならば、「艱難汝を玉にす」「若い時の苦勞は買ってでもせよ」というのが男親の厳しい言葉とすると、「苦勞があっても平気で生きていくのよ」は母の言葉のような感じが私にはしたのです。

その言葉がずっとそれから頭から離れなくて、いやでも自分の人生を振り返る言葉になったのです。振り返って気が付いたことです。苦勞というのは絶対に人にはあるものだ。苦勞があるからこそ人は成長すると

いうこと、自分を振り返った時に気が付いたのです。今、私も20～30年前よりはいくらか成長したかな。自分で自負するのですが、そのいくらかの成長の部分は辛かったこと、嫌なこと、苦しかったことが、今の私に育てたのだなとしみじみ思うのです。

どんな人にも、幸せそうに見える人にも、必ず苦勞があるのです。私は結構調べましたが、幸せそうな人を捕まえては「何かあった、なかったの」と聞くと、「実は君だから言うけどね」と言って、みんな苦勞して生きてきたのだなと、私の励みにもなりました。

ピカピカの二人の顔を見ていると、ふさわしい言葉かどうか知りませんが、私の人生観です。どんな人にも必ず不幸なこと、苦しいことがあるはずですが、でも、それがあからこそ人は成長できます。

はなむけの言葉になったかどうか分かりませんが、お二人の幸せをお祈りします。

ありがとうございます。

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長

まだ時間が若干ございます。ここで石田理事長より3月20日に行われました理事会に関係するお話がありますので皆さま、お聞きください。

では、よろしくお願いたします。

石田 博司・釧路ロータリー嵯峨記念育英会理事長

まずは先般の炉辺会合・情報集会では嵯峨育英会についての意見交換をしていただきましてありがとうございます。10のうち私は6つに参加いたしました。参加していないグループからも報告をいただきました。皆さま、大変真摯に真面目に真剣に討議をされて、ベテランのロータリアンからも「こんな情報集会、初めてだな」という声を何度も聞きました。さすが経済人の集まりだからなのか、それとも、基金が5,000万円あるから真剣に考えないといけないという責任感からなのか、分かりませんがとても参考になりました。

吉田潤司前理事長にいま申し上げましたけれども、「基金を崩してもいいでしょうか」と言ったら「構わないよ」というお返事だったのです。

ずっと嵯峨育英会の様子を見てきていまして、私が近年考えるのは「ありがたみが少なくなっている。それはどうしてか」ということがこの度やっとわかったのです。あまり教育熱心ではないですから、今の高校生の授業料免除を知らなかったのです。授業料が免除になっているから、それから物価の動向もあったりして、世の中での価値観で1万円の重みが昔とは違うと思うのです。

思い切って次の基金を値上げするのはどうかと思ったりしたのです。そのことも理事会に諮りましたし、炉辺会合・情報集会でもそういう意見を申し上げました。

それをイメージする時に一番の問題は、本当に基金を必要としている生徒・人材にどうしたら巡り会えるのだろうと。こういうつもりで例えば今は1万円だけでも、3万円、5万円、あるいは10万円という額を提示して、学校に「ふさわしい人を見つけてくれ」と言っても、恐らく学校同士で取り合いになるのではないかと思うのです。そうすると、まさか「母子家庭に限る」とも言えないでしょうし、非常に難しい。このままで行くと、どうしても片よりが出るのではないかと、一番差上げたい人に行き着くのだろうか、という不安があります。

いま理事会で考えているのは、そこがクリアできるようないい方法が見つかるまで少しの間、新年度から基金の募集をお休みしてはいかがかなと思うわけです。これに特に強い反対がない限りはそうさせてもらいますし、これは皆さんからも毎年毎年、基金の寄付をいただいていますから、皆さま、われわれの育英会ですから。私一人の独断で決めるものではないので、あくまでひとつの考え方ですけれども、まずは特に異論がなければ、ちょっとお休みをして体制を組み直してみたい。

ひとつのアイデア・意見・考え方としては、高校生ではなくて、例えば釧路の公立大学に協力いただけるのであれば、釧路公立大学を受験する全国の高校に発信をしていただいて、「釧路ではこういう奨学金がありますよ」という案内をしてもらおうのはいかがでしょうかと思っております。そうすると、選定についてもたくさん的高校生から選ぶよりは、1つの大学から選ぶ方がいいのではないかなと思ったりします。

もうひとつ、基金の取り崩しについては、これはいろんな意見あるでしょうけれども、私はどうも世界の経済、日本の経済ではこのままの同じシステムで行くとは思えないのです。大事に取っておくと「紙くず」になってしまうのではないかという気がするものですから、有効に使いたいと思ったりもするのです。

いずれにしても吉田潤司さんから受け継いだ以上、なにか自分が批判を受けても、身を切っても、何か有効な使い方をする役割があるのではないのだろうかかと、これはうぬぼれなのかもしれませんが、そういう思いがありまして皆さまに今日一言申し上げました。もし、これが「そう言わずに、しばらく今のままのシステムでやれ」という声が多いのであれば、そのように理事会に諮って考えます。

とりあえず、私の今の心境です。ありがとうございます。